

曲高馬琴著
金剛羅魁
利生續集
七編上卷止
漢齊吳大昌

3159
8



特

へ13
3159
8

馬琴作

金毘羅
船利生
纜



第七編
上帙



甘芝
泉堂
梓

觀姑峯の是首の昔日名々たる野夫の化物をも策子と観
 去る江戸の朝勝彼漢文の蒼表子を大和錦繪の搦付表子の終
 易を時好流行新奇も旨の相場ゆく高き登るも低き下学上
 達の資あるはぶたのあわゆるも看るも看るも優るもわかれ童蒙這
 書を繕はく細曳石投木登の悪遊戯小易とさる抑る見
 たは石折らシテめく淨藏の即ワキる且八戒の悟了は悟て
 又了るは沙和尚の悟定る悟ふよと定るは皆是人の心ある定の
 禪禪も靜靜るの天の性動はく變化するは無邊量耶魔
 とかは變化既極は極は麻鬼も亦成佛は時あり誰の心上
 一箇の阿弥陀るらんや親世音も釋迦如來も亦是人我心を

本来他を求めく這身不在の親するは世音通を機
 通自在の御貴の物に心寄如記を名つけ親世音といふ心の常を
 如來と名心常き禪定すれば終ふ了悟の時得難し迦毘羅の
 名義を這策子の第一第二の編中へえり夫金石の堅固なるも
 火をせを攻む折もあつべし碎くも易くめれば亦石折る修行鍛
 煉の別義あり又淨藏の淨藏は前中もいふとあり是心頭如
 來もあく迷悟の判る所を迷と悟と賢不肖と人我五藏の淨も
 と淨も所をわらうるも迷の迷を知らず悟るは悟を肯ん迷
 悟面をう忘れて後を不ぞ維麻の室へ入る

文政十三年庚寅春正月吉新坂曲亭馬琴識



三燈山假樵子

正在坡
前伐朽
柴忽逢
長老自
東未停
柯住斧
出林外



趨步將
身上石
崖



鬼と
心
外
内
心



三燈山
銀面魔王



威風凛々欺天将
怒師羣
妖出
洞前



稻華洞
玉面魔王

稲乃花
二百十日の
魔風
菩薩の
みのお
おのり



小妖奇顛

小妖の
筆
公



金田氏外傳七巻



二見の主人八十一巻



金野羅虎七巻

五





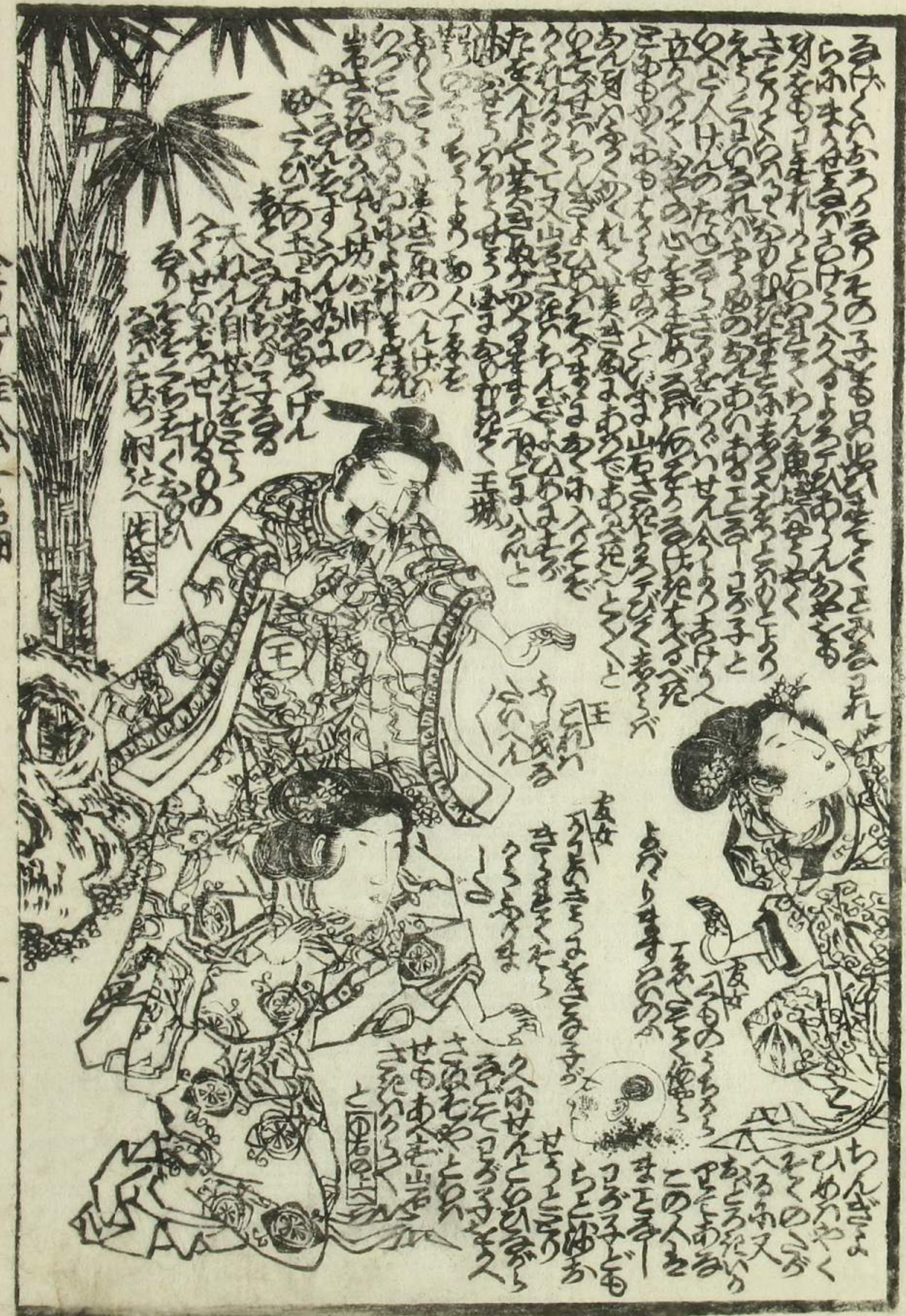
あまのちんぎん

あまのちんぎん



左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...
 左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...

左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...
 左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...



左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...
 左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...

左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...
 左の...
 右の...
 上の...
 下の...
 前の...
 後の...

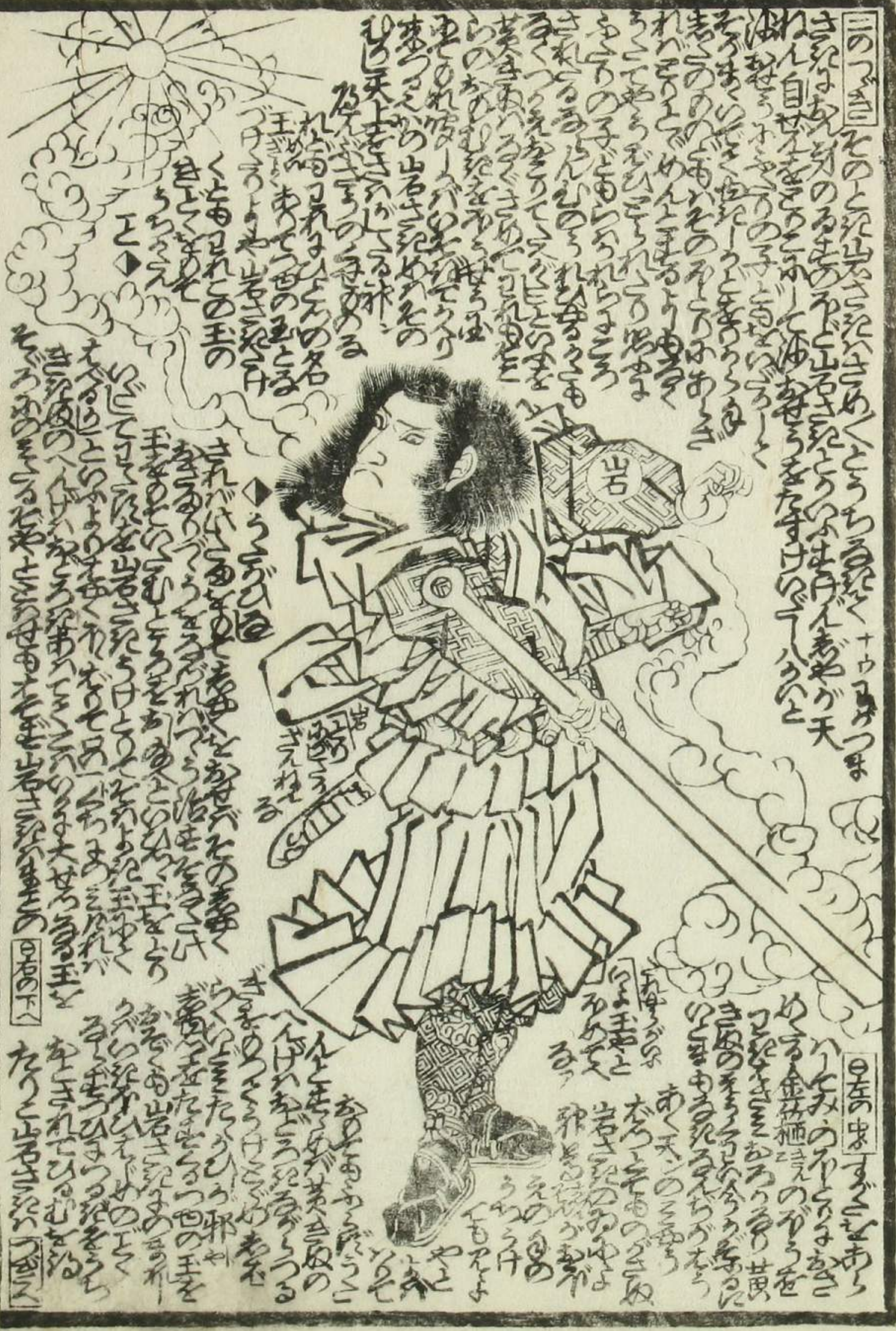
曲亭馬琴著

金毘羅船

利生纜第

七編上帙下

溪齋英泉画



山崎闇斎公一筆

○印

たのしき事

三のしん
 そのとて山崎闇斎公一筆
 はたけのふりかへりて
 ねん自れをたふす
 山崎闇斎公一筆

○印
 たのしき事
 山崎闇斎公一筆





あつちのついでに...
あつちのついでに...
あつちのついでに...



あつちのついでに...
あつちのついでに...
あつちのついでに...



あつちのついでに...
あつちのついでに...
あつちのついでに...



あつちのついでに...
あつちのついでに...
あつちのついでに...

あつちのついでに...
あつちのついでに...
あつちのついでに...



此の如きものありては...
 天の神の御心を...
 此の如きものありては...
 天の神の御心を...
 此の如きものありては...
 天の神の御心を...



此の如きものありては...
 天の神の御心を...
 此の如きものありては...
 天の神の御心を...
 此の如きものありては...
 天の神の御心を...



此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ

此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ



此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ

此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ
 此の山は昔は名僧の修行の地なり
 今も昔も其の風光は変わらぬ





大正四十四年三月二日



金田氏...

十一

この薬は... 治す... 効力... 用法... 注意...

家傳神女湯... 精製... 熊胆... 婦人... 製薬... 秋...

山田... 川金

馬琴今作

英泉画



